

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 30 年 6 月 1 日

仕事の内容	昭和病院企業団事務				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 保健・医療の充実

(総合計画書 47 ページ)

予算名	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	保健衛生総務費	事業 2	保健事業費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	市民(構成市市民)				→ 組織市数: 7市(小金井、小平、東村山、東久留米、清瀬、東大和、西東京)利用者数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	多くの市民が必要な高度専門医療を受け、健康を回復する				→ 市民利用者数/利用者総数			
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
分賦金の支払、広報掲載、実績確認等				→ 年度ごとの利用者実績数の推移の把握				

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	256,703	250,308	254,299	/	/
	成果指標	②の数値	%	5	5	5	/	/
	目 標	②の目標値	目標値設定の考え方 市民の利用割合の維持					
	活動指標	③の数値	人	12,802	12,182	11,805	/	/

3 経費	事業費(実績)		円	96,421,000	93,331,000	86,975,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源		円	96,421,000	93,331,000		86,975,000
		特定財源		円				
		(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2		0.2
		所要人数(再任用)		人				
		職員人件費(再任用以外)		円	1,646,600	1,653,400		1,650,600
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	98,067,600	94,984,400	88,625,600			

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	組織市住民の健康を保持するため、医療法に定める公的医療機関としての病院の設置・管理に関する事務等を共同処理することを目的とする。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成28年度末に武蔵村山市が構成市から脱退	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	とくになし。	

仕 事 の 内 容	昭和病院企業団事務			
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係 課長名 志村 明子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
	(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 なし			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。 構成市民優遇制度の情報の発信。HP、市報への関連記事の掲載。定例会議録の閲覧。			
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 構成市市民への優遇のため、制度の創設などについて、要望する			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 利用者増に向けて、引き続き昭和病院の事業や構成市民優遇制度の情報を発信する。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。 市報、HP等を活用する。その他の情報提供の方法等について検討する			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。